

## 平成 26 年度第 3 回 長野市都市内分権審議会 議事録

日時 平成 27 年 2 月 4 日 (水)

午後 2 時 30 分から

場所 市役所第二庁舎 10 階 講堂

### 議事

#### (1) 第三期 長野市都市内分権推進計画 (案) について

### 議長

(第三期) 長野市都市内分権推進計画案については、既に審議会で承認したところであり、パブリックコメントについては、審議会が関与するところではない。パブリックコメントの結果を受け審議会が承認した案について手を加えることになったので、了承をいただきたいという主旨で今回、審議会に議題として出している。

したがって、手直した 3 か所と加えたところについて、これでいいかを審議いただければと思う。

### 委員

パブリックコメントは、どういう位置付けで求めたのか。審議会で認めた計画案について、より良くするために (パブリックコメントを) 実施されたということであれば、私は今回 (パブリックコメントで) 提出された意見は良い意見であると考えることから、これでいいのではないかと。

### 議長

パブリックコメントは、市民の意向を計画案に反映するということが一番のねらいである。審議会で承認したものについて、あらためて承認をするという手続きを踏む必要はない。手直しするがこれでいいか、ということを確認させてほしいということで、計画案を議題とされた次第である。前回の審議会で承認済みのため、これでよければこれでいくが、よろしいか。

パブリックコメント (に寄せられる意見) はあまり無いというのが、一般的な傾向であるように思う。にも関わらず、今回 8 人の方が 22 件のコメントを寄せている。都市内分権への市民の関心が強いように感じる。

### 事務局

前回の審議会でまとめていただいた案に基づき、パブリックコメントを実施し、頂いたご意見等を踏まえ、計画案を修正し本日報告させていただいた。今後、庁内会議に諮り決定の後、4 月からは決定された計画に基づき事業を進めさせていただくことになる。なお、若干の文言の細かな修正はあるということをつけ加えさせていただくが、ご了承いただきたい。

## (2) 平成 25 年度 住民自治協議会の決算について

### 議長

この資料は、住民自治協議会宛に作成した資料ということでよろしいか。(資料中、平成 26 年度に向けて検討いただきたい事項とあるが) 検討いただきたいのは、この審議会ではないということよろしいか。

### 事務局

そのとおりである。

### 委員

一般会計決算の資料 1-1、全地区平均の円グラフの支出を見ると人件費 24.6%、人件費以外の事務局費で 11.7%合計 36.3%となっている。人件費以外の事務局費には備品なども入るのか。平均すると人件費が 24.6%ということだが、中には人件費の占める割合が極めて多い地区がある。人件費と事務局費が全予算の半分以上を占めるといえるのは多いのではないか。地区によって違いがあるのは分かるが、中山間地に多いように思える。どう見るか。

### 議長

今ご指摘いただいたように、地区によって事情が違うということも十分考えられると思うが、事務局としてはどう見ているか。

### 事務局

人件費については、大きな住民自治協議会も小さな住民自治協議会も基本的にかかる人件費は大きく変わらないということで、若干人口比で加算する部分はあるが、ほぼ一律に交付している。事務局長の雇用経費は上限 120 万円、事務局職員の経費は世帯数に応じて変動があり、190 万から 220 万円の範囲で、そこに加え地域福祉ワーカーの人件費が 100 万円、合計すると少ない地区で 410 万円、多い地区で 440 万円これが市から出している人件費である。活動費については、平成 22 年度から始まった地域いきいき運営交付金は世帯数等をベースに以前の区長会等(の団体)に差し上げていた補助金等を合体し、当時の額を減らさない額ということでありますので、世帯数に応じて増減があるという中で全体的に世帯数が少ないところは人件費の比率が大きくなってしまふ。人件費がほかの地域と同じようにあるので、比率的には大きくなってしまふ。活動費については足りないという意見もあり、見直しを検討していかなければならないと考えている。

### 委員

多い地区の話を取り上げたが、少ない地区もある。例えば人件費が全体の 12.3%のところもある。地区の実情によっては違いがあるのはよく分かるが、地区によって大きな差があったので事務局のお考えをお聞きした。

### 議長

人件費については、ほぼ定額補助である。住民自治協議会の財政規模が大きいと人件費の比率は小さくなり、財政規模が小さいと比率が大きくなってしまふということで、極端に数字に表れてしまふ。全体額はそう変わらないというようにご理解いただければと思う。

## 委員

A 3判の資料（平成 25 年度 各地区住民自治協議会一般会計決算状況の一覧）で説明をしてもらったほうが分かりやすいと思う。

## 事務局

資料の右半分の人件費の欄をご覧いただきたい。全地区平均の人件費は 4,087,443 円、平均 24.6%という数字になっている。第一から第五地区までは人件費を抑えている、また地域福祉ワーカーがいないことが人件費を抑えていると思われる。次の芹田地区では、人件費は 547 万円余、事務局長と事務局員複数名、地域福祉ワーカーもいて人件費の比率は 18.5%となっている。総支出額が 2,953 万円余という大きな枠となっているため、人件費の比率が抑えられている。以下 400 万円台の地区が続いており、先ほどの 400 万円余の（人件費補助）額をほぼ使っていると感じている。委員から（中山間地で人件費の比率が多いように感じるとの）ご指摘あったように、大岡地区では総支出額が 705 万円余に対し人件費が 410 万円余ということで人件費が 58.3%と大きな比率になっている。410 万円余の人件費は他の地区とほぼ同じく、市から人件費として交付している額を使っている。総支出総額が少ないので、人件費が他の地区と同等であっても比率が大きくなっている。つまり、人件費はどの地区もほぼ同額であるが、総支出額の規模が大きいところと小さいところがあるので、人件費の比率とすると、大小の差が出てしまうということである。

## 委員

第一から第五地区は住民自治協議会の設立が少し遅れ、（職員の）任用が整わなかったという実態がある。第二地区では事務局長の雇用も最近であり、事務局長の人件費はかかっていなかったということもあると思う。地域福祉ワーカーも、この地区はまだほとんどいない。そんな事情もあり人件費が少なくなっている。

## 委員

事務局長雇用経費は一律 120 万円になっているが、篠ノ井の場合だと（職員が）フルに 4 人いて、とても足りない。時間も足りなく、非常に困っている。区が 74 あり、回覧版も 2,700 枚ぐらい作らなくてはならない。規模が大きいにもかかわらず、同じ金額（人件費）でやり繰り返さなければならない。活動費が削られて人件費に回さなければならなくなっている。工夫しているが、非常に厳しい状況である。格差をつけていただいてもいいと思う。人件費を増やせば、事務局員をもう一人、二人増やせて楽になる。考慮していただければと思う。

## 議長

先ほど事務局から検討するという発言いただいているので、期待しましょう。

## 委員

同じ資料の収入についてだが、会費についてそれぞれの地区で色々と工夫されていると思う。会費の上限や平均についてお聞きしたい。また、最近区に入らない住民も増えてきているようだが、どう対処されているか。

## 事務局

会費、区費については地区に全て任せている。総会資料等などからの情報であるので、

こちらでは総額のみでしか分からない。グラフや表については総額のみと比較になっている。細かいことまでは承知していない。

#### 事務局

区に入らない方が最近どこの地区でも増えてきており、区長さん方は大変ご苦労されていると聞いている。現時点では市が介入して区に無理やり加入させるということはなかなかできない。長野市だけでなく、特に都市部では大きな問題になっているようであり、もう少し研究し、区の皆さんとも相談させていただく中で良い対処法があれば考えていきたい。

#### 委員

最近区の総会が近づく中で、アパート経営されている方がアパートを売却し、所有者が東京の方に変ったと、隣組長さんのところに不動産会社が相談に来て、区との関係等どうしたらいいかという話があった。ぜひ区に加入して、活動に参加していただきたいというのが前提だが、加入について強制はできないと思う。かなり難しいが、強制はできないが、何らかの形でぜひ協力していただき、地域で交流ができ、安心してまた共同でできるようアピールしていただきたい。

#### 議長

要望ということでよろしいか。これはどこの自治体でも頭を抱えている問題である。条例を作っているところもあるが、中身を見るとやはり強制はできないという内容になっている。非常に難問である。随分前のことだが、仙台市で町内会に加入しようというコマーシャルを作って、加入促進を試みたことがあった。その結果がどうであったか確認していないが、いずれにしろどこの自治体でも頭を抱えている問題であるようだ。

#### 委員

区に入らない者に対しては、地区でゴミの分別方法や出し方などについて徹底を図る中で、接点を持つことで、区費を納めてもらえるよう努力している。

#### 委員

今の話であるが、私の地区でも困っている。区に入っていないからゴミを出すなどとは言えず、ゴミの当番を回しても出てこない。回覧板も区費を納めていないから回さなくてもいいものか、具体的になってくると非常に困ってくる問題である。このような状況が増えてきており、どうしたらいいのか、いい知恵が浮かばない。どこの地区でも困っている状況が分かった次第である。

### (3) 長野市地域やる気支援補助金について

#### 議長

選考方法について、変更があるという報告などいただいた。いかがか。

#### 委員

予算額が1,000万円から900万円に下がった経緯を教えてください。地域を活性化

するための補助金ということで、住自協発足以来確保してきた金額だと思うが。

#### 事務局

私どもとしては継続して1,000万、もしくはそれ以上の金額を望んでいたが、財政的な事情もあり減額となってしまった。力不足で申し訳なかった。

#### 委員

選考委員の人数と、どんな方が選考委員になっているのか教えていただきたい。また、事業終了時点で当然結果報告を求めていると思うが、会計報告だけでなく、達成度や満足度なども求めているのか。

#### 事務局

選考委員については、都市内分権審議会の委員の中から就任していただくように設定している。今年度は選考方法をヒアリング形式に変更し、選考委員会の規模を縮小したことから、委員の人数を地域振興部長を含め昨年度の7名から5名とした。

結果については、事業が終了したところで実績報告書を提出いただいている。自己評価として事業を通してどんな効果があったか、将来的にどのような内容に繋げていきたいかなどの項目について、申し込み事業責任者から都市内分権課に提出していただいている。特に何かに反映するわけではないが、自己評価を通し事業の見直しをかけていただいている。

#### 議長

発表会のようなものはあるのか。

#### 事務局

やる気支援に特化した発表の場はないが、住民活動フォーラムがあり、住民自治協議会でどんな活動をされているのかを発表する場がある。そこでなるべく地域やる気支援補助金を活用していただいた事業の発表をしてもらい、内容を周知してもらっている。

#### 議長

私も経験があるが、この選考委員は大変である。丸一日かかる。就任された委員の皆さまお疲れ様です。以前は順位をつけて発表していたが、今回は変更されたということは良いのではないか。

#### 委員

例えば第三地区の「鍋屋田の里ホテル再生事業」だが、長野市街地の真ん中でホテルが飛び交うようにするというとても大掛かりな事業であり、素晴らしいと思う。来年度も継続するようだが、結果から見ると、今年度は数匹しか飛ばなかったとのことであるが、考え方によっては数匹飛んだだけでも素晴らしいことだと思う。継続していかないと効果が出ないような事業があるように思う。以前、(更北地区でも)下氷鉋小学校の池を改修してホテルが飛び交うようにするという事業を、2、3年継続して実施したことがあった。すぐに結果が出るもの、あるいは2、3年継続して結果が出るものもある。やはり、このような地域にやる気を起こさせるような発想は素晴らしい。是非継続していけるように検討してほしい。

**議長**

今回、継続して3年応募できるようになったということは、要望に沿ったものになっている。

**委員**

一地区100万円から70万円に変わった理由をもう一度説明してほしい。

**事務局**

70万円に設定した経緯は、平成22年度から26年度までの5年間、やる気支援補助金の制度を実施してきた。継続3年までは申し込みを可能にしたことなど、今回の見直しにより申し込み事業が増えると考え、一地区でも多く事業を採択したいとの判断によるもの。また、総額70万円にした根拠は、5年間に採択された一地区の交付額を平均した金額が66万円ということで、実績ベースの70万円に設定したものである。

**議長**

本日の議事は、これで終了する。